

## グリーン・ツーリズム湧水（湧水町）

### 運営側本位のモニターツアーにするために

従来行ってきたモニターツアーでは、参加者の中には地域を知りたいというよりは「安いから参加した」という参加者の動機も感じられ、実践する側に得るものが少ないと感じていたため、本事業では湧水町の実情を知ってもらったうえで、魅力を見出してもらい、発信の方法を助言してもらうことに目的を絞った。そのためツアーの参加者を運営側でしぼり、若年層で且つ地域おこしに興味のある方にきてもらった（鹿児島国際大学学生、鹿児島県内の地域おこし協力隊員等）。

### 異例のワークショップの多いモニターツアー

1 回目のモニターツアーでは、1 日目に湧水町の概要について知っていただいたあと、町内をボランティアガイドの案内含めて回っていただき、3 軒の農家民宿に分かれて宿泊。2 日目はそれぞれの宿泊先での体験のあと、グリーン・ツーリズム等をテーマにした意見交換会を実施。そして3 日目も2 日目の検討を受けてのまとめを行うなど、日程の約半分をワークショップに費やした。

2 回目のモニターツアーでは、引き続いて参加できない方もいたが、1 回目の参加者提言を受けて、反映した内容になるように運営に努め、ツアーの最後に同様に意見交換会を行った。

### 参加者が求めているものは何？常にアンテナを

「若い人は Facebook を利用しない」が「Instagram での撮影ポイントを紹介すれば来訪者が増える」など、年齢層によって大きく異なる情報収集方法を再認識。しかしながら「普段の湧水町の普通の生活」がとても新鮮で驚きがあるもので、目を引く動画など、発信の方法で受け手に着実に届けば、「訪れてみたい地域」と認識してもらえとの意見も得られていた。

### モニターツアーの課題

現状を知ってほしいあまりに、滞在時間が短かったり、ツアー当日は食べられないものを説明してしまったりと、反省点もあった。



地元ガイドとも連携



活発な議論が交わされたワークショップ



2 回目のツアーでは 2018 年放映の「西郷どん」と湧水町の間接を感じるコースで町内をめぐった

### ここがキラリ☆ 湧水町の取組

「おもてなし研修会」では女性に出席者を限り、各家庭のおもてなし料理を持ち寄り、会食を通じて来訪者へのおもてなしについて成功と失敗の事例を共有した。実際の受入の際に「どんな料理をだしたらいいのか？」と構えてしまいがちなので、普段の料理にひと手間、ひと工夫、または作り手としての一言があれば、十分なおもてなしになると学びの場に。各研修も目的と方法が明確な点が確実な効果を生んでいる好例。